



「神戸女学院めぐみ教育基金」招聘教員による

特別講演会

***GENDER (IN) EQUALITY IN JAPAN AND POLAND
on the Example of Political Representation***

講師 神戸女学院大学文学部英文学科客員講師

チニウイックス

Monika KSIENIEWICZ氏



講師紹介

Received PhD from the University of Maria Skłodowska Curie in Poland for a thesis on gender equality. 10 years worked in government in charge of gender equality – last position was a deputy director of the Equal Treatment Office in the Chancellery of the Prime Minister. Participated in various research projects, both academic and governmental related to gender equality. Chosen as Young Leader by Japanese government to carry out an independent study in the National Graduate Institute for Policy Studies in Tokyo (2014 – 2015).

めぐみ教育基金

学院創立75周年、90周年にめぐみ会が募った学院への寄付金を基金として、毎年めぐみ会バザー収益金から500万円を追加寄付しています。今年度はこの基金をもとに、Monika KSIENIEWICZ氏を文学部英文学科客員講師(グローバル・スタディーズコース)として招聘しました。

世界経済フォーラムによる世界経済男女格差指数によると、日本は145カ国中101位と先進国の中では男女共同参画が最も遅れている国の一つです。

日本の性別による賃金格差の平均中央値は、OECD諸国の中で2番目に高く、日本人女性の学歴は労働市場に反映されているとは言えません。女性たちは、育児支援の不足、税法、マタニティ・ハラスメントにより妊娠と同時に退職するものが多く、母親になることに大きな代償を払っているのです。

また、日本では女性の政治活動への参加が世界平均を下回る僅か15%ですが、3人目の女性首相を輩出しているポーランドでは議員のほぼ30%は女性に割り当てられ、労働市場では70%の女性が活躍し、より先に進んでいるといえるのではないでしょうか。

当講演では女性の政治参加との関連で、男女共同参画施行に関して、日本とポーランドにおける類似点と相違点をみていきます。(※講演は英語で行われます)

- ・日 時 2017年1月24日(火)
午後1時半～午後3時
- ・会 場 神戸女学院めぐみ会館
- ・受講料 無料

- 要予約。電話・FAX・ホームページからもお申し込みいただけます。
郵便番号・住所・氏名・電話番号・受講人数をお知らせください。
- お申し込み締め切り 2017年1月23日(月)
- 定員になり次第締め切らせていただきます。
- 託児(2歳～就学前)は無料です。
2週間前までにお申し込みください。
- 自家用車でのご来場はご遠慮ください。(駐車場はありません)
- キャンパス内は禁煙です。



- ・阪急今津線門戸厄神駅下車西へ徒歩15分
- ・タクシーの場合は、西門経由でめぐみ会館までお越しいただけます。